

2019年12月
株式会社 J E R A

武豊火力発電所リプレース計画に係る環境監視結果

「武豊火力発電所リプレース計画 環境影響評価書」に基づき実施した、2018年1月～2019年3月の武豊火力発電所の工事中の環境監視の結果および産業廃棄物の処理状況は、以下の通りです。

○工事中の環境監視結果（2018年1月～2019年3月）※1

・大気環境、水環境、その他の環境

環境要素	監視項目	単位	環境監視結果※3	管理目標値等	
大気環境	工事関係車両		台/日	959	—
	硫黄酸化物※1	1時間値	ppm	0.016	0.1ppm以下
		1時間値の1日平均値	ppm	0.004	0.04ppm以下
	二酸化窒素※1	1時間値の1日平均値	ppm	0.032	0.06ppm以下
	浮遊粒子状物質※1	1時間値	mg/m ³	0.102	0.20mg/m ³ 以下
		1時間値の1日平均値	mg/m ³	0.062	0.10mg/m ³ 以下
	騒音		dB	77	特定建設作業時 85dB以下
				73	7時～19時 75dB以下
				80※4	19時～翌7時 70dB以下
	振動		dB	54	7時～19時 75dB以下
48				19時～翌7時 70dB以下	
水環境	水質（浮遊物質質量※2） （海域）	mg/L	バックグラウンド値 +7.4	バックグラウンド値 +10mg/L以下	
	水質（浮遊物質質量※2） （工事排水）	mg/L	63.5	80mg/L以下	
	水質（pH） （工事排水）	pH	5.6～8.5	5.0～9.0	
その他の環境	地下水質 （ほう素およびその化合物）	mg/L	4.7※5	1mg/L以下	

※1 硫黄酸化物、二酸化窒素、浮遊粒子状物質の環境監視期間は2018年4月～2019年3月。

※2 あらかじめ浮遊物質質量（SS）と濁度の関係を把握したうえで、濁度を測定し、濁度測定値からの換算値。

※3 環境監視結果は、期間中の最大値を示す。

※4 2018年7月25日セミの影響により管理目標値を超過した。それ以外に管理目標値を超えたことはなかった。

※5 地下水のほう素およびその化合物の基準は1mg/L以下であるが、それを超過するほう素およびその化合物が検出されているため傾向監視を行っている。

なお、検出されたほう素の値は、海水と同程度であり、健康への影響はないものと考えます。

○産業廃棄物処理状況（2018年1月～2018年3月）

単位：トン

発生量	有効利用量	処分量
32,937	32,937	0

*小数点以下、四捨五入。

産業廃棄物処理状況（2018年4月～2019年3月）

単位：トン

発生量	有効利用量	処分量
59,656	18,962	1,880

*廃棄物は中間処理にて減量するものもあるため有効利用量と処分量の合計は発生量と一致しない。
また、小数点以下、四捨五入。

以 上